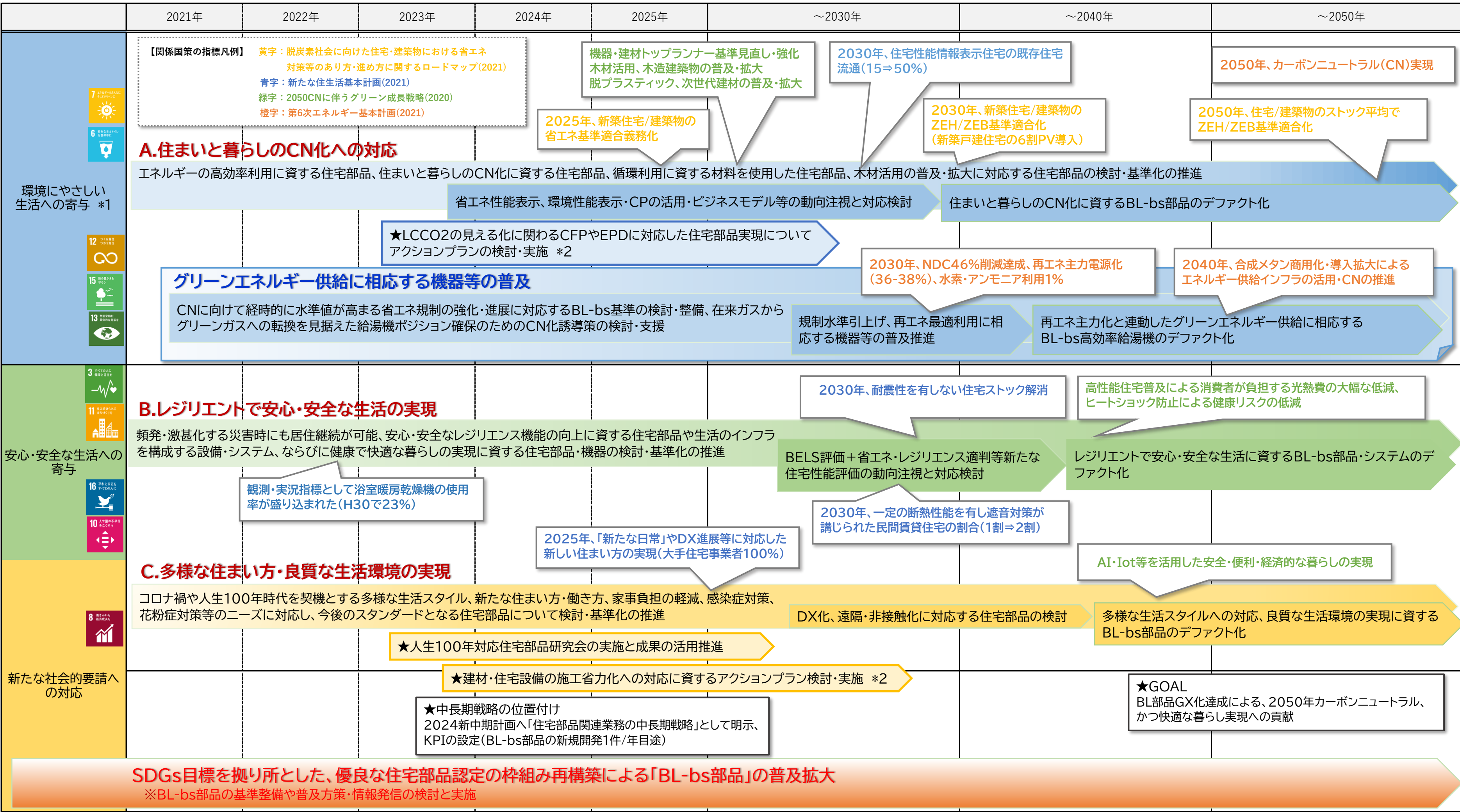


2020年10月、我が国は『2050年カーボンニュートラル(CN)』を宣言。気候変動への対策が必須の国家戦略となり、CNへの対応の成否が企業の競争力に直結する時代となった。さらに、エネルギーのCN化を起点とした、国主導の「グリーン成長戦略:グリーントランスフォーメーション(GX)」による産業構造の転換が求められており、家庭、業務、運輸各部門において、災害時のレジリエンス等を踏まえた現実的かつ段階的なGXについて議論が始まっている。

当財団では2021年4月、国連が提唱するSDGsの目標を踏まえ、BL-bs部品の「社会に貢献するテーマ」について新たな社会的要請を加えて再構成を実施したが、急激に進むCNやGX化への対応を図るため、BL-bs部品制度の基準整備および普及方策をコアとした住宅部品関連業務をはじめとし、CNやGXを意識したベターリビングとして取り組む中長期のアクションプランを策定し、関係者間での共有を図り、連携して戦略的に取り組んでいく。特に、グリーンエネルギー供給に相応する機器普及等、今後の道筋が明示され、緊急度が高い分野については、深掘した具体的なアクションプランを策定し、実施していく。



*1 BL-bs部品が社会に貢献するテーマ
(1)環境にやさしい生活への寄与 ①環境の保全に寄与する特長 ②優良な住宅ストックの形成・活用に寄与する特長
(2)安心安全な生活への寄与 ③高齢者・障害者を含む誰もが安心して生活できる社会の実現に寄与する特長 ④防犯性の向上に寄与する特長 ⑤健康的な生活の実現に寄与する特長 ⑥防災、減災に寄与する特長
(3)新たな社会的要請への対応 ⑦家事及び労働の負担軽減に寄与する特長 ⑧その他よりよい社会の実現に資する特長

*2 R5年度から取り組むアクションプラン